



# 笹小だより



No. 4

令和元年6月28日  
横浜市立笹野台小学校

みんなで心を整えてみよう！！

副校長 山中 卓

初めまして。今年度、磯子区の根岸小学校より笹野台小学校に副校長として着任いたしました山中 卓（たかし）です。この3か月にあった学校行事では、祖父母の方々の姿も多く見受けられ、町内や隣近所の多くの大人の目で、子どもを見守り育てている地域だと感じることができました。私も笹野台の子どもたちをしっかりと見守っていこうと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、子どもたちは、どのクラスも随分落ち着いて学校生活を送るようになりました。学級目標も決まり、少しずつクラスのカラーが出始めたところです。

今、いくつかのクラスでは、靴箱に靴を揃えて入れることに取り組んでいます。カラフルな靴が整然と靴箱に入っている様子に、気持ちの良さを感じています。せっかくなので、7月からは、全校で取り組んでもらいたいと考えています。



ここで、一編の詩を紹介いたします。

これは、長野県にある円福寺の和尚さんであった藤本幸邦さんが書かれた詩です。

「はきものをそろえる」という言葉には、「脚下照顧（きゃっかしょうこ）」、「自分の足元を見よ」「自分の行いを見よ」という意味があるそうです。誰かのはきものが乱れていたら、黙ってそっと揃えてあげられるような人こそが、本当に思いやりのある人なのだと書かれています。そんな人が一人でも増えれば、そんな子どもがたくさん育てば世の中は、もっともっと素敵なものになるとも書かれています。

修行は、はきものを揃えることから始まり、他にも様々な作法を学ぶそうです。作法によってカタチを整えると、心まで整ってくるというわけです。このように、「はきものをそろえる」ということは、心をひとつのところに集中させること、そして、心を整えて次の活動に気持ちを揃えていくことに繋がります。「揃える」ことの大切さは、学習においても同じです。授業に必要なものを忘れずに揃えると、余裕をもって臨めます。授業の前に必要なものを揃えておけば、心構えがしっかりとできて学習がより一層身に付きます。「たかが靴、されど靴」です。こうした小さなことを大切にひとつひとつ積み重ねていくことが、子どもたちの心を成長させ、それが学力の向上にも繋がっていくと考えます。踵を揃えて入っている靴箱を見ると、嬉しくなります。一生懸命に取り組んでいる子どもたちを、これからも応援していきたいです。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みまで、あと3週間となりました。月日が経つのはとても早いものですが、どの学年もどの学級も夏休み前に学習や生活のまとめをしっかりと行って、自分なりの課題をもって夏休みを迎えて欲しいと思います。そして、たくさんのことを学びとともに、素敵な思い出をたくさんつくって欲しいなと思っています。

はきものをそろえる  
はきものをそろえろと 心もそろろう  
心がそろろうと はきものもそろろう  
ぬぐとぎに そろえておくと  
はくときに 心がみだれない  
だれかが みだしておいたら  
だまっそろえて おいてあげよう  
そうすればきつと  
世界中の人の心もそろおうでしょう

藤本 幸邦作